

令和8

小論文 B

(180点)
(50分)

注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 この問題冊子は、白紙を除いて、6ページあります。
試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 3 解答は、〔令8 解答用紙〕に記述しなさい。
- 4 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

問1

現在、社会の国際化の進展に伴い、外国生まれもしくは両親が日本人でない等、国内で日本語を母語としない児童生徒が増えている。また、日本語を母語としていても、長期の海外滞在から帰国した児童生徒などもある。結果として、日本の学校でも日本語指導が必要な児童生徒が増加している。

図1は日本の小学校・中学校・高等学校に在籍する日本語指導が必要な外国籍の児童生徒数、図2は日本の小学校・中学校・高等学校に在籍する日本語指導が必要な日本国籍の児童生徒数の推移を表すグラフである。

これら2つのグラフの内容に関する次の4つの文(1)から(4)のうち、3つの文には誤りがある。誤りである文の番号を3つ選んで解答欄に記入し、その文が誤りであると判断した理由をそれぞれ80字以内で述べよ。

[20点×3]

- (1) 日本語指導が必要な外国籍の児童生徒数、日本語指導が必要な日本国籍の児童生徒数を比べると、増加割合は年によって異なるが、令和5年度の人数は、ほぼ同数である。
- (2) 平成24年度から令和5年度にかけて、日本語指導が必要な外国籍の児童生徒数、日本語指導が必要な日本国籍の児童生徒数は、いずれも2倍以上に増加している。
- (3) 平成26年度から平成28年度への増加を比較すると、日本語指導が必要な日本国籍の児童生徒数よりも、日本語指導が必要な外国籍の児童生徒数の方が、増加人数は多い。
- (4) 小学校と中学校と高等学校での日本語指導が必要な児童生徒数の多さを比較すると、外国籍の児童生徒でも日本国籍の児童生徒でも、高等学校の生徒数が最上位である。

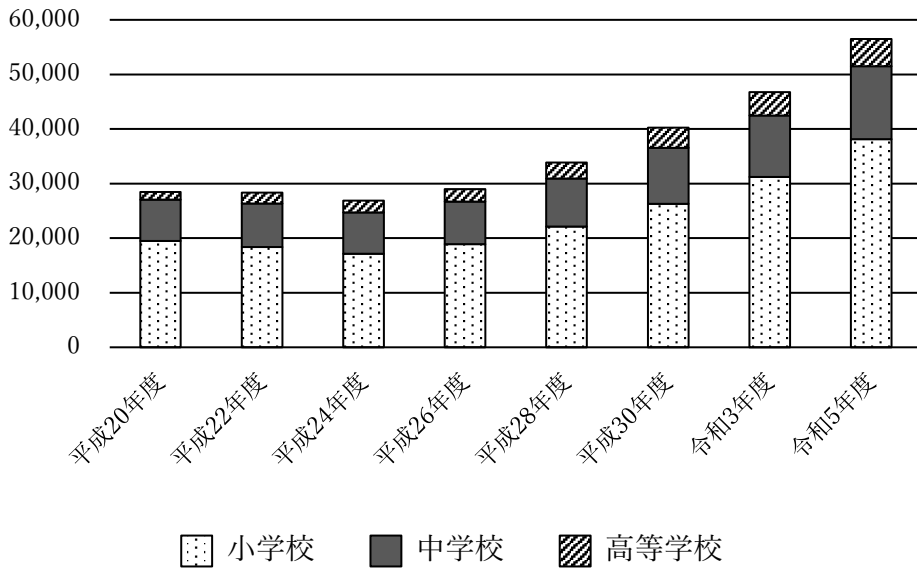


図 1：日本語指導が必要な外国籍の児童生徒数（単位：人）

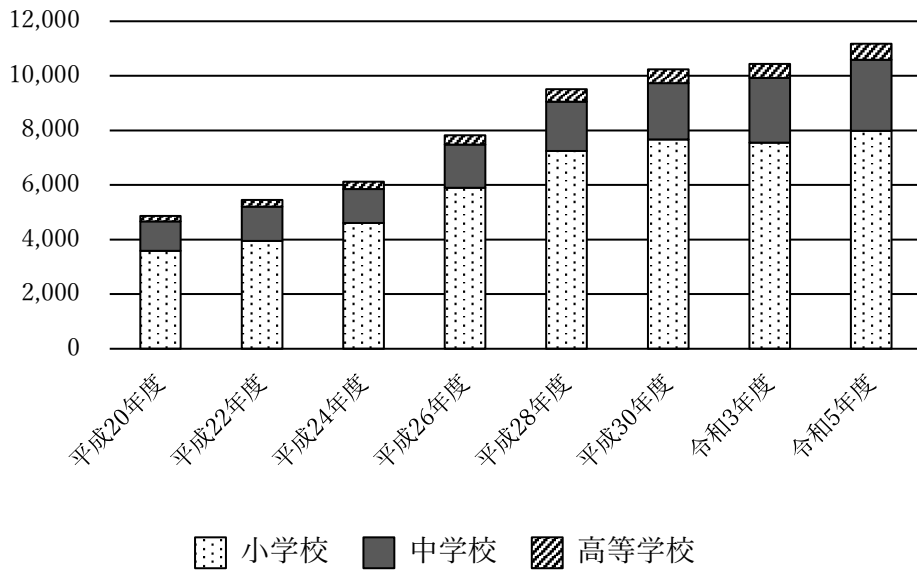


図 2：日本語指導が必要な日本国籍の児童生徒数（単位：人）

問2

日本語指導が必要な児童生徒に対しては、教科の補習や通常の授業にはない日本語の指導が必要な場合がある。図3は日本語指導が必要な外国籍の児童生徒のうち、そうした特別な配慮に基づく指導を受けている者の割合の推移を示すグラフである。

また、こうした特別な配慮に基づく指導を行うにあたっては、通常のカリキュラムだけでは対応が困難な場合がある。平成26年度からは小学校・中学校において、児童生徒が学校生活を送る上で、また教科等の授業を理解する上で必要な日本語の指導を、通常のカリキュラムの一部に替えて、在籍学級以外の教室で行う等の弾力的な「特別の教育課程」による日本語指導を行えるようになった。図4のグラフは、図3において特別な配慮に基づく指導を受けている者のうち、「特別の教育課程」による日本語指導を受けている者の割合の推移を示している。

これらのグラフをもとに、平成30年度において、日本語指導が必要な外国籍の児童生徒のうち、「特別の教育課程」による日本語指導を受けている者の割合を答えよ。ただし答えは四捨五入により%を単位とする整数値で記入せよ。

(例 35.4%→35%)

[20点]

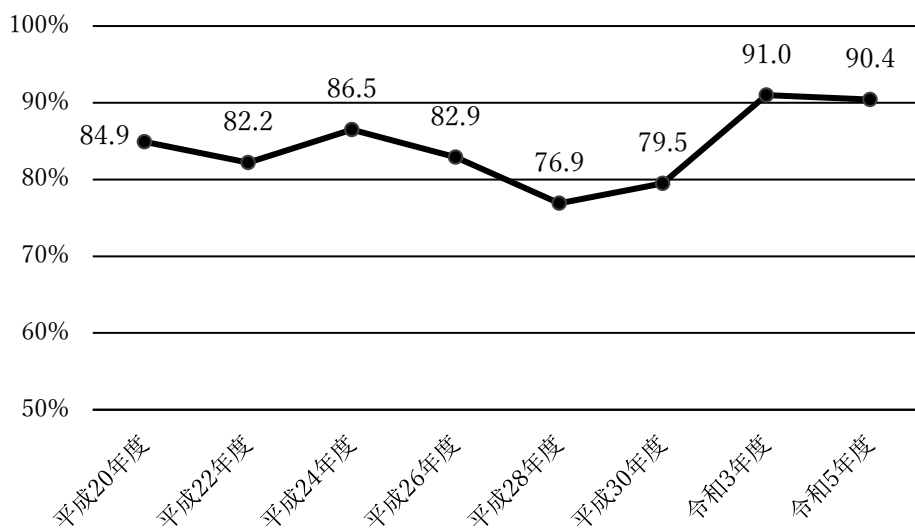


図 3：日本語指導が必要な外国籍の児童生徒のうち
学校において特別な配慮に基づく指導を受けている者の割合

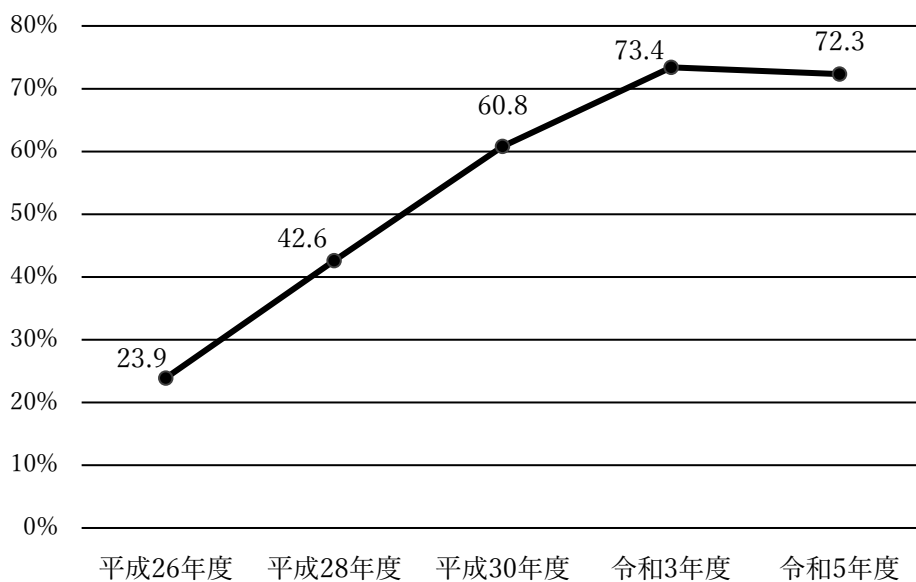


図 4：図 3 の学校において特別な配慮に基づく指導を受けている児童生徒のうち
「特別の教育課程」による日本語指導を受けている者の割合

問3

下の図5は、公立学校に在籍している外国籍の児童生徒数の推移を小学校、中学校、高等学校に分けて示したものである。このグラフをもとに、その全体的な傾向と校種ごとの特徴を120字以内で述べよ。

[50点]

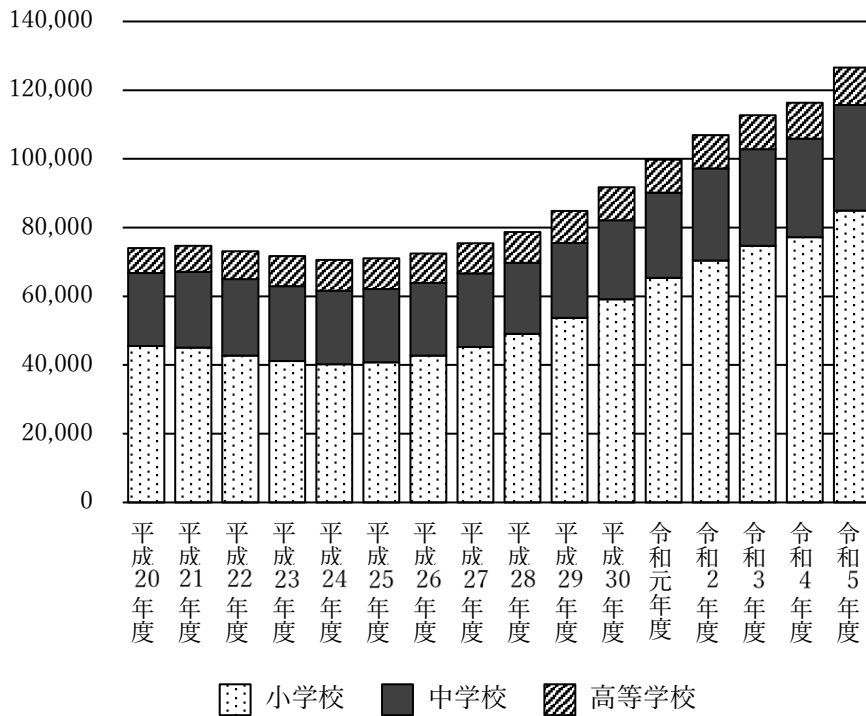


図5：国内の公立学校に在籍している外国籍の児童生徒数（単位：人）

問4

下の表1は、平成26年度と令和5年度における国内の日本語指導が必要な外国籍の児童生徒の人数を母語となる言語別に示したものである。この表をもとに、日本語指導が必要な外国籍の児童生徒の言語別在籍人数について、平成26年度と令和5年度の分布を比較し、各言語の割合にどのような変化が見られたかを150字以内で述べよ。

[50点]

表1：平成26年度と令和5年度における日本語指導が必要な外国籍の児童生徒の言語別在籍人数（単位：人）

	平成26年度	令和5年度
ポルトガル語	8,340	12,026
中国語	6,410	11,862
フィリピン語	5,153	8,913
スペイン語	3,576	3,668
ベトナム語	1,215	3,756
英語	777	3,221
韓国・朝鮮語	614	482
その他の言語	3,113	13,790
合計	29,198	57,718

[出典] 問題中の図表はすべて、以下の資料に基づき作成した。

文部科学省 総合教育政策局国際教育課 「令和5年度 日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等に関する調査結果 結果の概要」

https://www.mext.go.jp/content/20240808-mxt_kyokoku-000037366_3.pdf, (参照 2025-07-15)